



虹が迎えてくれた 東尋坊



心配していた天気も、私たちが乗るバスが、三国に近づくにつれ、雨は止み、晴れ間も見えるようになりました。冬の日本海を思わせる荒波や優しい虹が迎えてくれました。

「わあー。」という歓声とともに、波が陸地を削り取るという様子や長い年月をかけて堆積した地層の様子を間近に見て、実感を伴う学びができました。

✳️振り返りより

海の波が地層にぶつかると、だんだん削れていって、あの形になるんだなと想像することができました。でもそう簡単にはあのような形にはなってくれないと感じました。風や波で地層ができるとは、実際自分の目で見るとよく分からなかったのだから、見ることができて良かったです。

思ったより波が強く、この波の強さによって、きれいな地層ができているのだなと思いました。石の層や泥の層など、多くの層があり、長い年月が過ぎてできているのだと



2021年11月17日

2021年11月17日



思いました。空洞が4つくらいあり、波の力が本当に強いと分かりました。柱状節理は、マグマが固まって六角形や五角形になり、次に風や波でどんどん柔らかい部分が削れていったと習ったので、本当に自然現象が起こした奇跡的な現象だと思いました。



自然が作り出す造形美を
目の当たりにし、心から
感動していました。